

B - 4 次の記述は、短波帯のフェージングの軽減方法について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
 なお、同じ記号の □内には、同じ字句が入るものとする。

(1) 受信電界強度の変動分を補償するために無線電話 (A3E) 受信機に ア 回路を設けたり、無線電信 (A1A) 受信機の検波回路の次に イ を設けて検波出力の振幅をそろえるなどの方法がある。

AGC ア 回路は、上下の側波帯も搬送波も一様にレベルが変動するフェージングがあるとき、その影響を軽減することが ウ。 *リミタ*

(2) 同一送信点から二つ以上の周波数で同時に送信し、受信信号を合成又は切り換える エ ダイバーシティや、受信アンテナを数波長以上離れた場所に設置して、その信号出力を合成又は切り換える オ ダイバーシティという方法がある。

- | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|-------|
| 1 偏波 | 2 AGC | 3 リミタ | 4 できない | 5 空間 |
| 6 周波数 | 7 LPF | 8 スケルチ | 9 できる | 10 干渉 |

空間

2 3 9 6 5

